

2023年9月期第3四半期決算

MRI 三菱総合研究所

2023年8月1日

1 2023年9月期第3四半期決算

2 2023年9月期業績予想

3 トピックス

2023年9月期 第3四半期(3Q)のまとめ

- 売上高は3Qとして過去最高、経常利益は費用増に伴い減益
- TTC費用増に伴い利益減も、ITSは金融・カード中心に好調を維持

売上高： 実績 968億円 前同比 +52億円

- 前同比増収で3Qとして過去最高
- シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC):官公庁向けガバメントクラウド、5G関連案件等で増収
- ITサービス(ITS):金融機関向けシステム基盤更改案件等が寄与

経常利益： 実績 95億円 前同比 △9億円

- TTC:大型実証事業における外注費や将来成長のための先行投資(人件費等)で費用増
- ITS:増収に伴い増益

純利益： 実績 59億円 前同比 △18億円

- 前期特別利益(投資有価証券売却益14億)の反動で前同比減

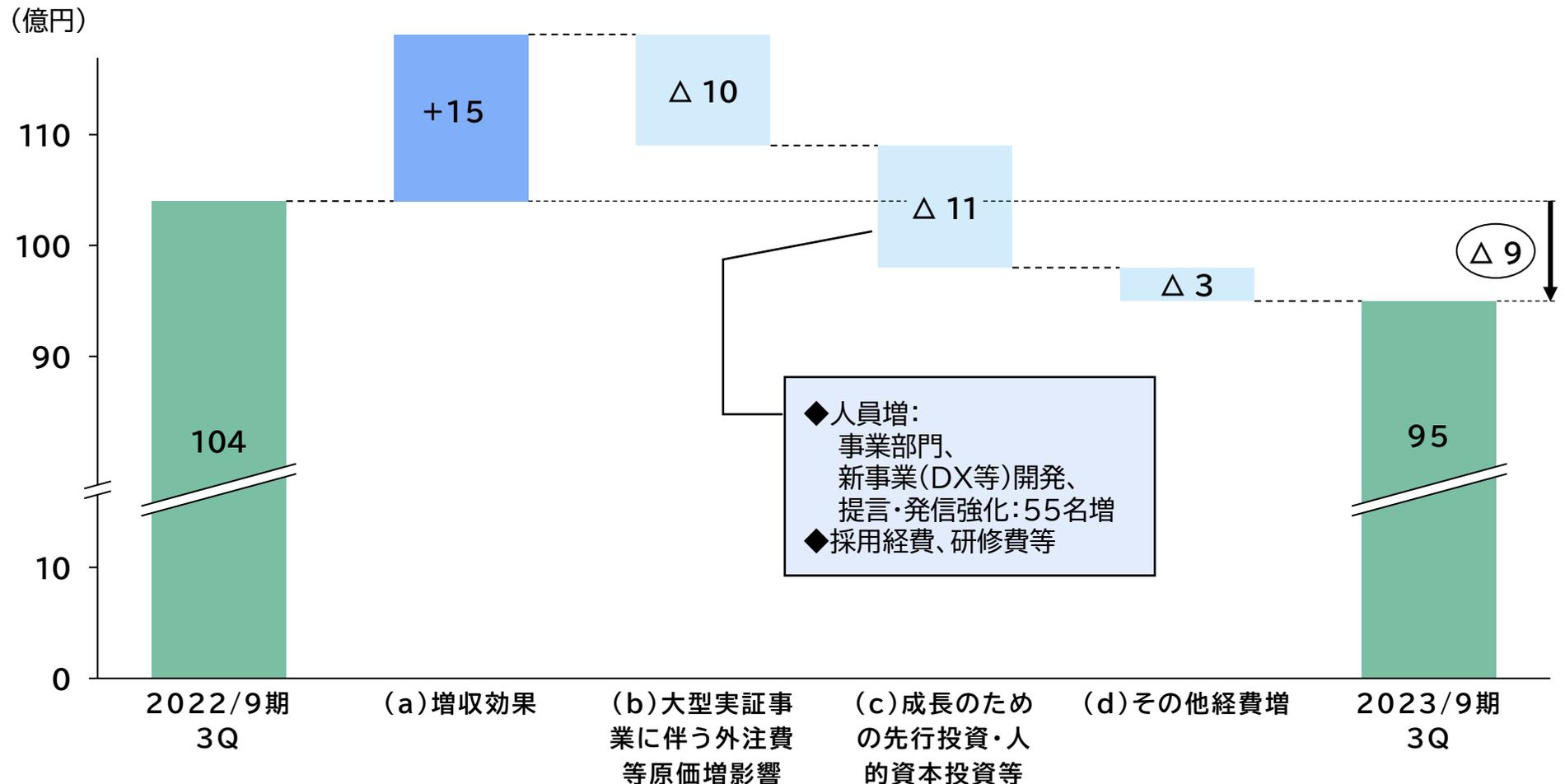
第3四半期連結決算 <前同比>

(百万円)

	2022年9月期 3Q累計	2023年9月期 3Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	91,673	96,878	+5,205	+5.7%
売上総利益	22,250	21,479	△771	△3.5%
売上総利益率	24.3%	22.2%	△2.1P	
販売費及び一般管理費	12,914	13,092	+178	+1.4%
営業利益	9,335	8,386	△949	△10.2%
営業利益率	10.2%	8.7%	△1.5P	
経常利益	10,430	9,519	△911	△8.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,819	5,934	△1,885	△24.1%
1株当たり四半期純利益(円)	481.69	369.25	△112.44	

経常利益の変動要因 <前同比>

- 2022/9期3Q経常利益104億に対し、増収効果(a)の一方、
- 大型実証事業に伴う外注費等の原価増(b)や先行投資等(c)、
- その他経費増(d)で前同比9億円減の95億円



シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

(百万円)

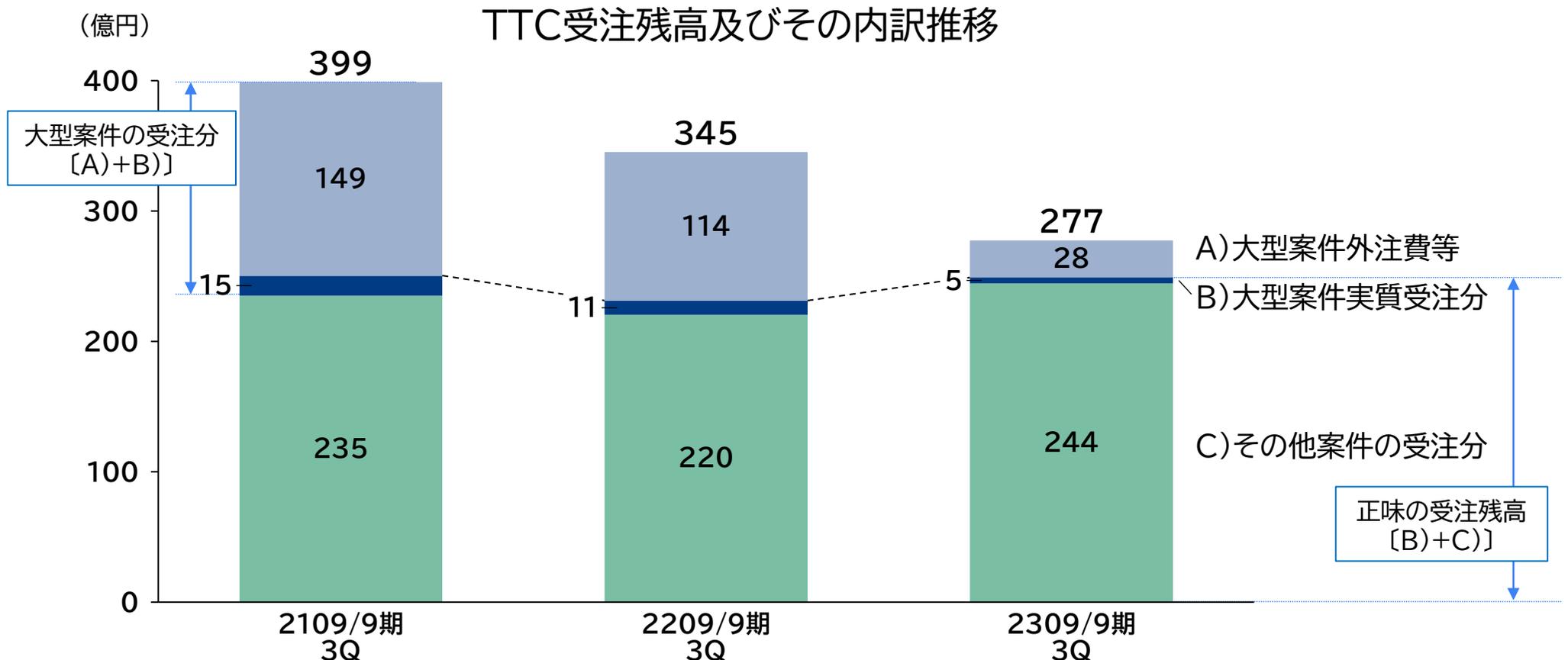
	2022年9月期 3Q累計	2023年9月期 3Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	40,848	42,666	+1,818	+4.5%
営業利益	5,359	4,005	△1,353	△25.3%
営業利益率	13.1%	9.4%	△3.7P	
経常利益	6,212	4,819	△1,393	△22.4%
受注高	41,774	35,535	△6,239	△14.9%
受注残高	34,508	27,736	△6,771	△19.6%

主なポイント

- 官公庁向けのガバメントクラウドや5G関連の実証案件、再生エネルギー関連の調査・実証案件、運輸・通信業向けシステム実装等の伸長
- 大型実証案件に伴う外注費増(⇒P13)、将来成長のための先行投資・人的資本投資等により減益
- 受注高・受注残高は官公庁大型案件(前期3Q受注)の反動減(当期売上には寄与)で減少
- 外注費比率が高い案件の影響を除くと、当社の正味の受注残高は過去2期並みの水準(⇒P7)

TTC・3Q受注残高の内訳

- 受注残高に含まれる大型案件から、外注費等の割合が大きい案件(⇒P13)を抽出
 - 大型案件の受注分は下図のA)+B)に相当
- 当社の利益に寄与する正味の受注残高は、B)+C)となる
- 正味の受注残高では、当期3Qの受注残高は、過去2期並みの受注を確保



ITサービス(ITS)

(百万円)

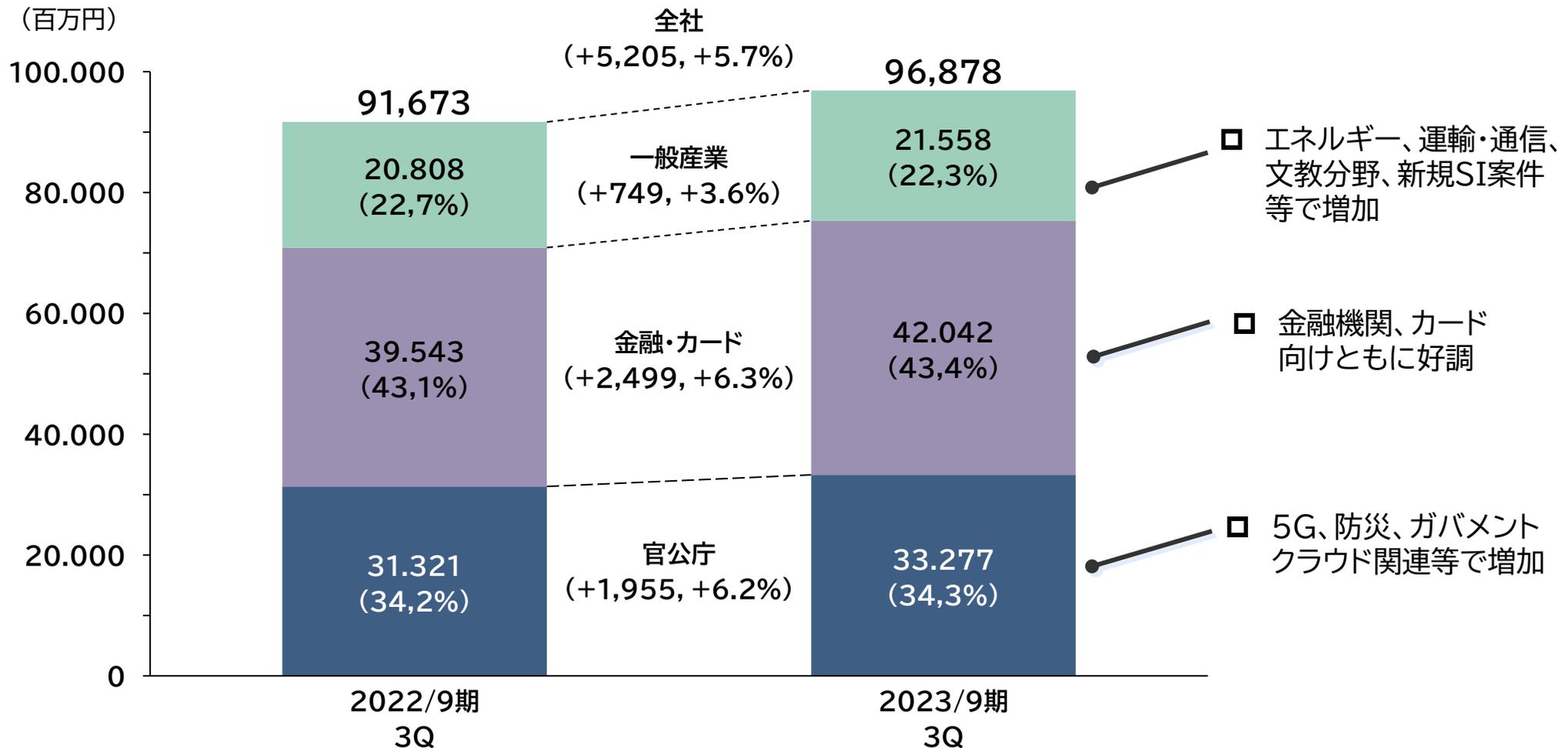
	2022年9月期 3Q累計	2023年9月期 3Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	50,824	54,211	+3,387	+6.7%
営業利益	3,978	4,370	+392	+9.9%
営業利益率	7.8%	8.1%	+0.3P	
経常利益	4,220	4,691	+470	+11.2%
受注高	52,942	53,337	+394	+0.7%
受注残高	46,285	46,271	△14	△0.0%

主なポイント

- 金融機関向けシステム基盤更改案件などがけん引し、増収・増益
- 受注高、受注残高ともに概ね前同並み

顧客業種別売上高 <前同比>

- 顧客3業種いずれも前同比増
- 「金融・カード」(+6.3%)、「官公庁」(+6.2%)は好調維持
- 「一般産業」もエネルギー、運輸・通信業、文教分野等の伸長により増加(+3.6%)



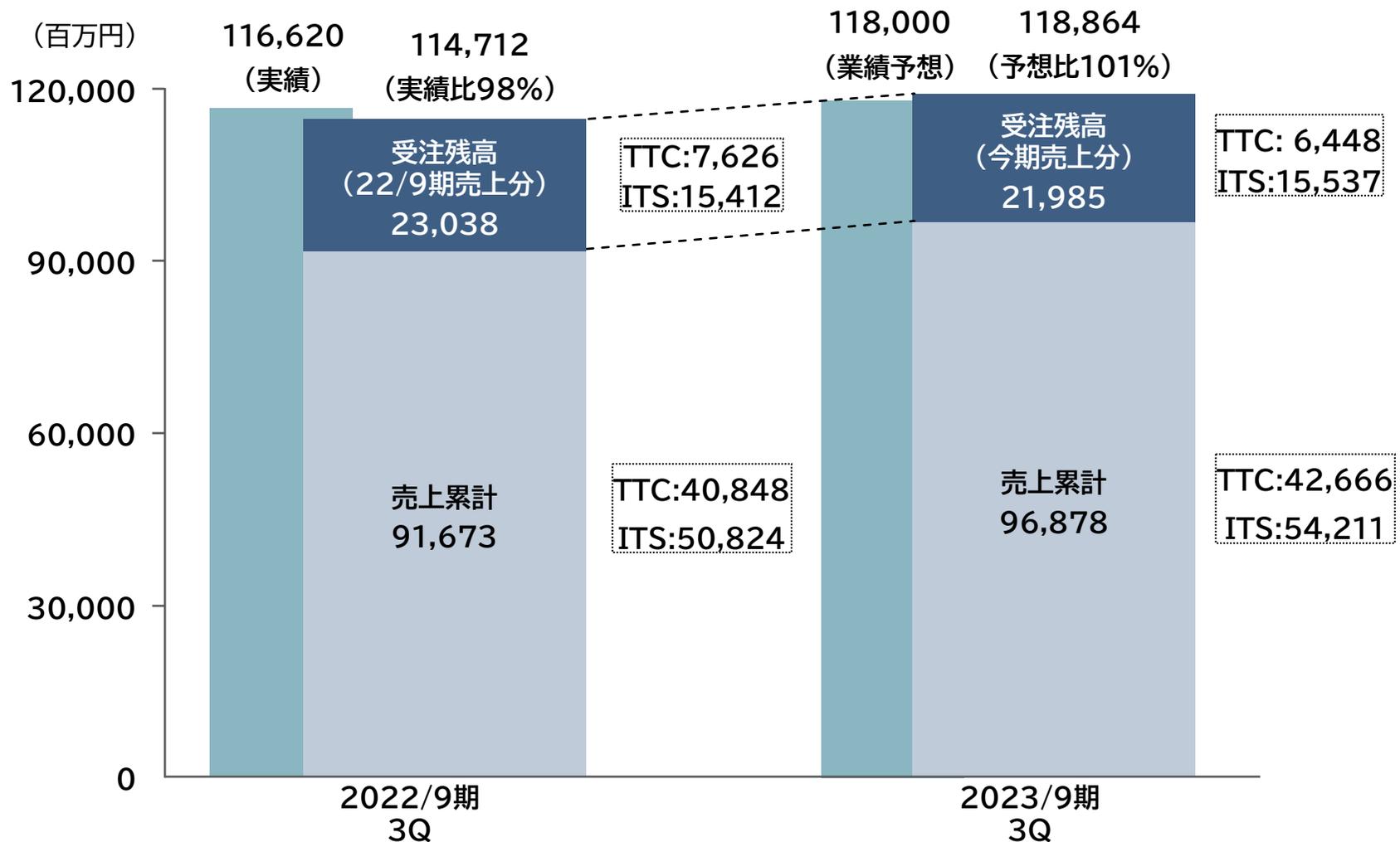
参考)セグメント別・顧客業種別売上高 <前同比>

(百万円)

		2022年9月期 3Q累計	2023年9月期 3Q累計	前同比	
				増減額	増減率
T T C	官公庁	30,718	32,699	+1,981	+6.4%
	金融・カード	2,871	2,451	△420	△14.6%
	一般産業	7,258	7,515	+257	+3.5%
	TTC 計	40,848	42,666	+1,818	+4.5%
I T S	官公庁	602	577	△25	△4.2%
	金融・カード	36,671	39,591	+2,920	+8.0%
	一般産業	13,550	14,042	+492	+3.6%
	ITS 計	50,824	54,211	+3,387	+6.7%
合計		91,673	96,878	+5,205	+5.7%

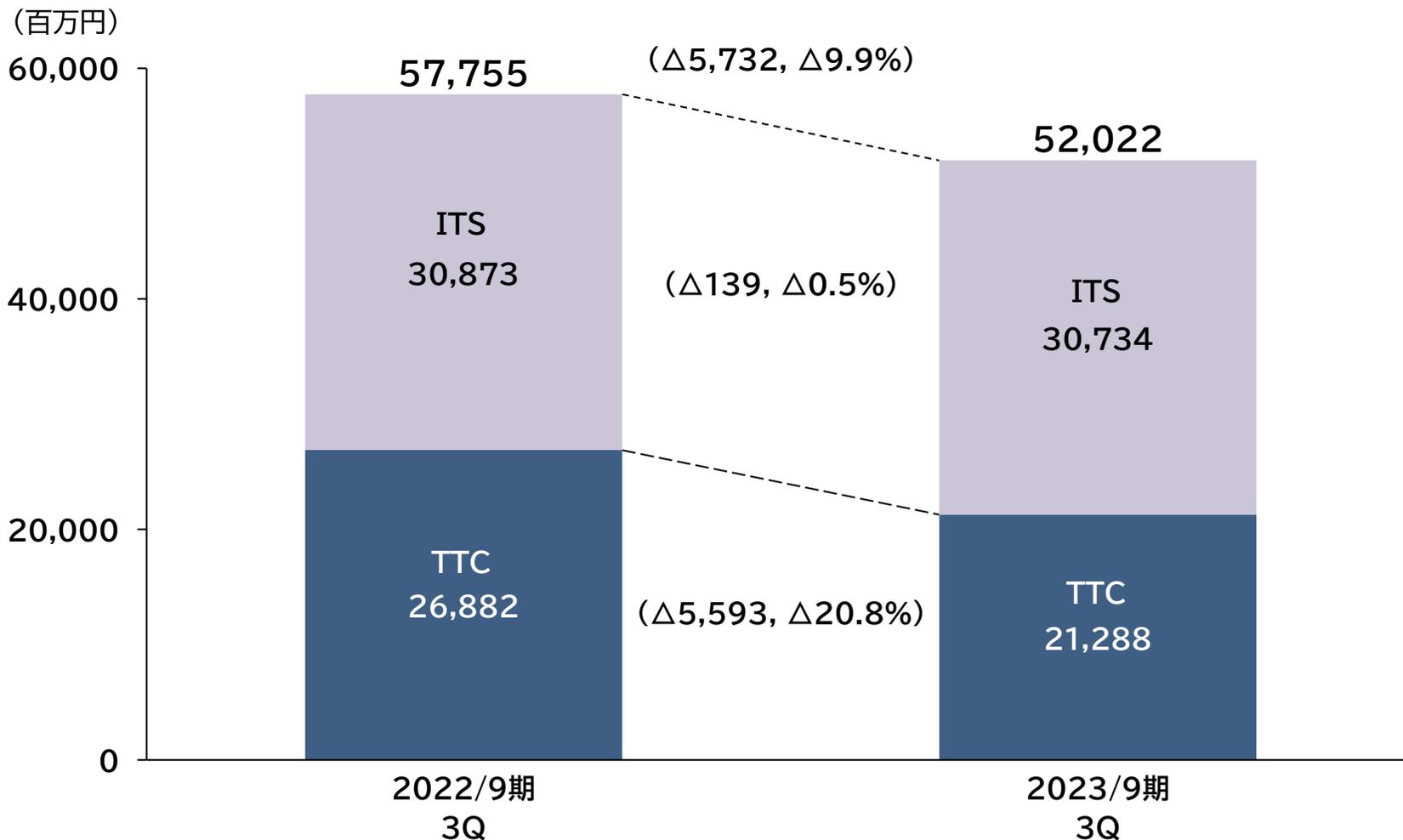
進捗状況:売上累計+受注残高(今期売上予定分)

- 「3Q売上累計」+「今期売上予定の受注残高」は今期業績予想比 101%(前期3Qは98%)



受注残高(来期繰越)

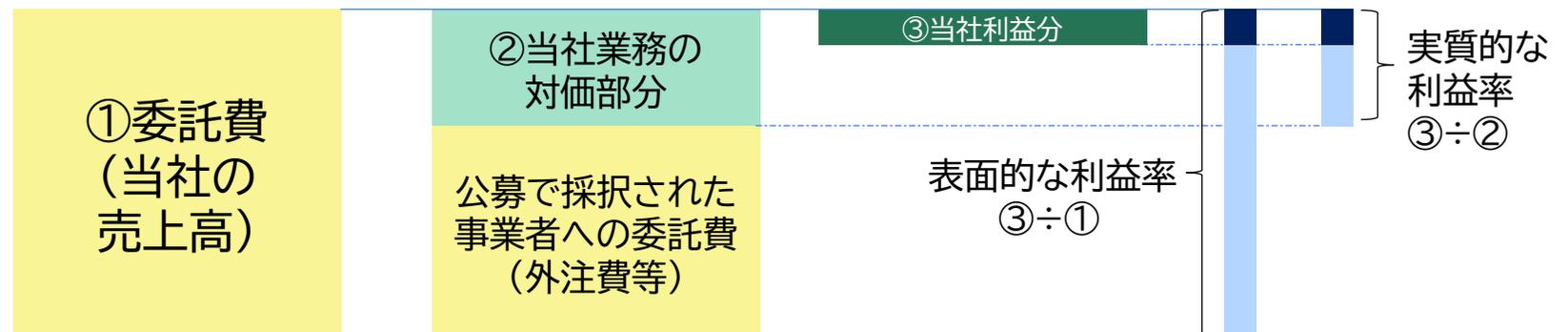
- TTC大型案件(前期3Q受注・今期完了)のはく落影響で受注残高は大幅減少(△55億)
- 外注費比率が高い大型案件影響を除いた正味の受注残高は、過去2期並みの水準を確保(⇒P7・13参照)



参考)外注費等の大きい官公庁大型案件について

- 官公庁の大型案件には、受託事業の一環としてアプリケーションの開発・実証や実証事業、試験、調査研究等を行うものがある
- このタイプの案件では、実際に開発・実証等を行う企業・研究機関等を公募し、採択された提案に基づき当該開発・実証等を進める
- 当社は、公募・選定支援から開発・実証等の進捗管理や成果確認等を行う
- 委託費に採択事業者に対して支払う費用も含まれる場合があり、通常の案件に比べ外注費等が占める割合が大きくなる一方、表面上の利益率が低くなる傾向にある

当該業務の構造 (イメージ図)



具体例(当社ウェブサイトを参照ください)URL:<https://pubpit.mri.co.jp/publicoffer/index.html>

- 「テクノロジーマップの整備に向けた調査研究(アナログ規制の見直しに向けた技術実証等)」(デジタル庁事業)
- 「公共ブロードバンド移動通信システムの災害時の通信手段の確保に関する技術検討」(総務省事業)
- 「Withコロナに向けた合理的な感染対策への見直し等に資する調査研究業務」(内閣官房事業) など

- 1 2023年9月期第3四半期決算
- 2 2023年9月期業績予想
- 3 トピックス

2023年9月期 連結業績予想 (期初予想から変更なし)

- 業績予想に対し、連結ベースの進捗率は売上高 82%、経常利益 90%
- 当社業績の季節性(特にTTC売上・利益計上が上期(10~3月)に偏向する傾向)を勘案し、業績予想は据え置き

(百万円)

	2022年 9月期実績	2023年 9月期予想	前同比	
			増減額	増減率
売上高	116,620	118,000	+1,379	+1.2%
シンクタンク・コンサルティングサービス	48,548	46,000	△2,548	△5.3%
ITサービス	68,072	72,000	+3,927	+5.8%
営業利益	9,165	9,300	+134	+1.5%
営業利益率	7.9%	7.9%	+0.0P	
経常利益	10,493	10,600	+106	+1.0%
シンクタンク・コンサルティングサービス	5,190	4,900	△290	△5.6%
ITサービス	5,301	5,700	+398	+7.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,707	6,500	△1,207	△15.7%
1株当たり当期純利益(円)	474.67	399.99	△74.68	

- 1 2023年9月期第3四半期決算
- 2 2023年9月期業績予想
- 3 トピックス

DX事業の取り組み

DXイベント「【MRI DX DAY】“DX疲れ”からの突破口”開催

詳細は[こちら](#)をご覧ください。



- 昨年に続き2回目の開催
- 「GPT時代に障壁を越える、実務の要点」を副題とし、自社のDXプロジェクトを推進する実務リーダーを対象に、DX推進における課題や障壁を突破する方策について紹介
- 参加者数延べ約670名(当社DXイベントとして最大、昨年比約2割増)
- 当社サイトでアーカイブ配信中
- 昨年のイベント後は、計1億円超の案件受注の成果

【開催概要】

- 開催日:2023年7月19日(水)9:40~16:00
- 主催:当社・三菱総研DCS株式会社
- 共催:株式会社アイネス、日本ビジネスシステムズ株式会社

参考) [「日本企業のDX推進状況調査」](#)(三菱総合研究所・三菱総研DCS、2022年12月実施)
<https://www.mri.co.jp/news/press/20230405.html>

最近のリリース～三菱総合研究所

日付	タイトル
【MRI】	
2023.7.31	エネルギー 地域別電力需要予測(DFES)の活用開始 ～カーボンニュートラルを支える送配電設備計画の策定に国内初の導入～
2023.7.28	海外 カタール政府とのカーボンクレジット検討に係る協力を発表
2023.7.24	人財 文部科学省から「リカレント教育の社会実装に向けた調査研究・普及啓発パッケージ事業」を受託
2023.7.21	DX 日本財団の無人運航船プロジェクト 社会実装に向けた第2ステージに参加
2023.7.12	海外 中東のエネルギーtransition分野で豪GHD社と連携
2023.7.10	人財 日総工産と三菱総合研究所、半導体製造人材の育成・供給を共同で推進
2023.7.6	ヘルスケア 「健康経営アライアンス」に参画
2023.7.4	SDGs 「ICF Business Acceleration Program2023」を開催
2023.7.3	SDGs 商業宇宙活動の行動規範に関する原則(ワシントン・コンパクト)に署名
2023.7.3	エネルギー 経済産業省から「EVと電力システムの統合等に関する調査」を受託

最近のリリース～三菱総合研究所

日付		タイトル
【MRI】		
2023.6.29	地域	地域テレビCMによる共創型プロモーション実証実験を実施
2023.6.28	DX	ChatGPT技術導入を支援する「ララサポ」を提供開始
2023.6.6	DX	三菱総研グループ、【MRI DX DAY ―「DX疲れ」からの突破口】を開催
2023.6.5	エネルギー	大和エネルギーと三菱総合研究所、再エネ併設型蓄電池事業の共同検討を開始
2023.5.31	DX	「アナログ規制の見直しに向けた調査・実証事業」を開始
2023.5.22	DX	Merry Gate ホールディングスグループと三菱総合研究所、協業検討に関する基本合意書を締結
2023.5.17	海外	ベトナムでインパクト投資セミナーを開催

最近のリリース～三菱総研DCS

日付		タイトル
【DCS】		
2023.7.27	DX	<u>Biz J AWARD 2023にて『Special Award』を受賞 ～パートナー参画後初となる大型複合案件を受注～</u>
2023.7.25	DX	<u>12.8%の企業が「給与デジタルマネー払い」早期検討開始の意向 ～人事給与担当に独自アンケートを実施～</u>
2023.6.27	DX	<u>データ分析環境の構築から利用まで最短1ヵ月！「データ分析スマートスタート」提供開始</u>
2023.6.14	DX	<u>三菱総研DCSとスリーシェイクが協業し、セキュリティ診断の新サービスを提供</u>
2023.6.12	DX	<u>クラウド型人事給与システム「PROSRV on Cloud」が給与デジタルマネー払いに対応</u>

最近のリリース～日本ビジネスシステムズ(持分法適用会社)

日付		タイトル
【日本ビジネスシステムズ(JBS)】		
2023.7.20	人財	日本マイクロソフトが初実施した「Microsoft Top Partner Engineer Award」を JBS の 9名のエンジニアが受賞
2023.6.28	DX	「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー」で 2023年も 2冠達成 11年連続での受賞
2023.6.6	DX	Apple デバイスの管理ソリューションを提供する Jamf と正規一次代理店契約を締結
2023.6.1	人財	プロ e スポーツチーム「Team Jadeite」のスポンサーに就任
2023.5.22	地域	北海道伊達市の「Microsoft 365 定着化支援に関するCIO 補佐業務」を受託、および「デジタル人材派遣受入に関する連携協定」を締結
2023.5.10	DX	千代田化工建設が提供する産業設備・プラント業界向けクラウドサービスの開発を支援
2023.4.28	DX	機密情報の漏洩リスクを回避して安心安全に「ChatGPT」を利用するための導入コンサルティングサービスをリリース

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : ir-info@ml.mri.co.jp

URL : www.mri.co.jp/

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所